

厚生労働省事業

妊娠と薬情報センター

Japan Drug Information Institute in Pregnancy



「妊娠と薬情報センター」は、妊娠・授乳中の服薬に関する情報機関です。
専門の医師・薬剤師が、あなたのご相談に応じます。



◆持病のためにお薬を飲んでいるけど、赤ちゃんに影響はないの？

◆妊娠していることを気付かずにお薬を飲んでしまった、妊娠を継続しても大丈夫？

こういった妊娠、もしくは妊娠を予定されている方のお薬の疑問に対して、
国立成育医療研究センターの「妊娠と薬情報センター」という部門が相談を受け付けています。
当院は佐賀県の拠点病院に指定されています。

ご相談方法は3通りあります。（* 状況によっては選択のご希望にそえないことがあります）

①電話でのご相談

②かかりつけの主治医を通して相談依頼し、かかりつけの主治医に説明してもらう

③佐賀大学医学部附属病院の「妊娠と薬外来」で説明してもらう

いずれの方法も事前にお申込みが必要です。

お申込みの詳細については「[妊娠と薬情報センター](http://www.ncchd.go.jp/kusuri/)」(<http://www.ncchd.go.jp/kusuri/>)をご参照下さい。

【当院の妊娠と薬外来について】

佐賀大学医学部附属病院での「妊娠と薬外来」での説明をご希望された場合(③の方法)は、
センターから届く「相談方法のお知らせ」をもとに、下記の日程で予約して頂くことになります。

外来日：毎週月・水曜日（祝日を除く）

時間：14時～16時（完全予約制）

費用：10,000円（税別）（60分まで、保険外診療）

5,000円（税別）（延長の場合、30分毎）